



あなたが
みかん畑に残した
かけがえのない
人生の宝物

監督・脚本 吉田陽（和歌山県有田市出身）
原案・音楽 やなせなな

福原正義
植木歩生子
川添公二
堀部由加里
上村美雨
円間佳子
佐藤智輝
石村麻紘

蜜柑

カラー26分 撮影・山崎えり 音声・石田敦也 撮影助手・キノーラ、桃尾郁 衣装・東京衣装 美術・高津商会 音効・戯音工房
撮影協力・林和男、吉田周一郎、嶋田和人、Musubiまちの家 制作協力・老人ホーム紹介センター、小西透太、舞夢プロ、ライターズ・カンパニー、
キャストプラン、YAAAS 製作 クリーク・アンド・リバー社



認知症を患う「あなた」と共に生きる「わたし」の心あたたまる物語

【あらすじ】

国内有数のミカンの生産地・和歌山県有田市。

この町でミカン農家を営んでいた和憲(福原正義)は3年前に認知症と診断され、現在は息子家族と同居しながら介護を受けている。進行する病と共に、自室から見える庭のミカンの木を虚ろな目で眺める日々。

ホームヘルパーとして和憲の介護を担当しているカナデ(植木歩生子)は家族のことすらも次第に曖昧になっていく和憲が、時々話す「ミカン畑の“たからもの”を探しに行こう」という言葉が気になっていた。

広大な畑、しかも現在は地元企業に譲渡しているということもあり、あまり積極的ではない家族ではあったが、カナデの助力で和憲が発する単語や落書きを頼りに“たからもの”を発見。その正体とは…



厚生労働省によると認知症患者の数は2025年にはおよそ700万人と、
高齢者の5人に1人が認知症になると予測されています。
決して他人事ではない病気ですが、根本的な治療法は確立されておらず、
どのように向き合っていくのかは社会全体の大きな課題となっています。
最後までその人らしく生きるには何が必要なのか。
心あたたまる短編の中で、私たちに問いかける作品です。



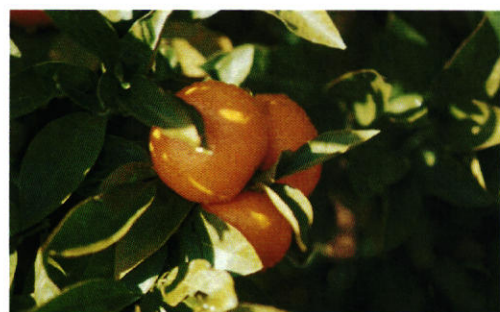
やなせななさんとの出会いは、日本テレビのドキュメンタリー番組で取材を始めた2010年。
今回のショートムービーのテーマとなった楽曲「蜜柑」とは、その取材の中で出会いました。
あたたかさや切なさが同居したメロディの素晴らしさに加え、自らの介護経験と照らし合わせて涙するリスナーの女性の姿が非常に印象的だったのを覚えています。

それから10年以上が経過し、やなせさんから「蜜柑」をテーマにした短編映画を作りたいというお話をいただいた時、これは自分にとっても非常に大切な作品になると直感しました。

奇しくも私の出身地は、和歌山県・有田市。

冬には町を囲む山々が全てオレンジに染まる、国内有数のミカンの産地です。

高校時代まで過ごしたこの街の美しい風景と、やなせさんの楽曲「蜜柑」によって、きっと素敵な映像作品が生まれると確信しています。



人生の終焉に向かい、少しずつ記憶も薄らいでいく中で、果たして自分に最後まで残るのはどんな記憶、感情なのか。そんなことを考えながら、皆さんと物語を作っていけたら幸いです。

監督・脚本 吉田陽